

保護者の皆様へ

札幌市保健福祉局

インフルエンザの流行に伴う救急医療の確保に係るお願い ～救急医療機関の適正利用と感染予防にご協力ください～

札幌市内において、インフルエンザの流行が拡大しており、この状況が続くと、真に緊急性の高い重症患者さんに対応するための救急医療体制の確保が困難になることが懸念されます。

つきましては、救急医療の安定的な提供を維持するため、以下についてご理解とご協力をお願いいたします。

1 救急医療機関の適正な利用

例年、インフルエンザ流行期には、市内の小児科休日当番医が非常に混雑し、診察完了まで相当な時間を要するなど、迅速な診察が困難となる恐れがあります。

比較的症状の軽い方で、休日明けまで家庭での応急処置で様子を見ることが出来る場合は、平日の診療時間帯に、かかりつけ医などの医療機関をご利用いただくようお願いいたします。

- なるべく医療機関の「通常の診療時間帯」に受診しましょう
- 身近な診療所の医師である「かかりつけ医」を持ちましょう
- 受診について迷う時は、救急医療相談窓口を利用しましょう

こどもの症状 目安の受信ナビ （WEBツール）	チラシ参照
救急安心センターさっぽろ （電話相談）	☎ #7119（24時間）
北海道小児救急電話相談	☎ #8000（19時～翌8時）



※休日は、利用者の増加に伴い、電話相談窓口の混雑が予想されます。

まずは、スムーズにご利用いただけるWEBツール（受診ナビ）のご活用をご検討ください。

※日曜・祝日・年末年始は、当番医療機関のほか、[札幌市夜間休日急病センター](#)でも小児科診療を行っています（午前9時～午後5時。[札幌市医師会ホームページ](#)から予約制）。

2 ご家庭で取り組んでいただきたい感染予防対策

インフルエンザの主な感染経路は、飛沫感染や接触感染です。日頃から以下の予防策を徹底しましょう。

項目	実施内容
手洗い	外出から帰宅した後、食事の前には、十分に手洗いをしましょう。
咳エチケット	咳やくしゃみ等の症状がある場合は、必ずマスクを着用しましょう。マスクがない場合は、ティッシュや袖で口と鼻を覆い、他の人にうつさないようにしましょう。
健康管理	十分な栄養と睡眠を心がけ、体調を整えましょう。人混みを避けることも有効です。
予防接種	インフルエンザワクチンは重症化予防に有効です。接種を希望される場合は、早めの接種をご検討ください。（接種から免疫獲得まで約2週間かかります）

【問い合わせ先】

札幌市 保健福祉局 ウェルネス推進部 医療政策課

電話011-211-3517（対応時間9:00～17:00 土曜・日曜・祝日及び年末年始を除く）